



16/3 月期 決算説明資料

eGuarantee

2016 年 5 月 23 日



本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。

これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社以外の情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

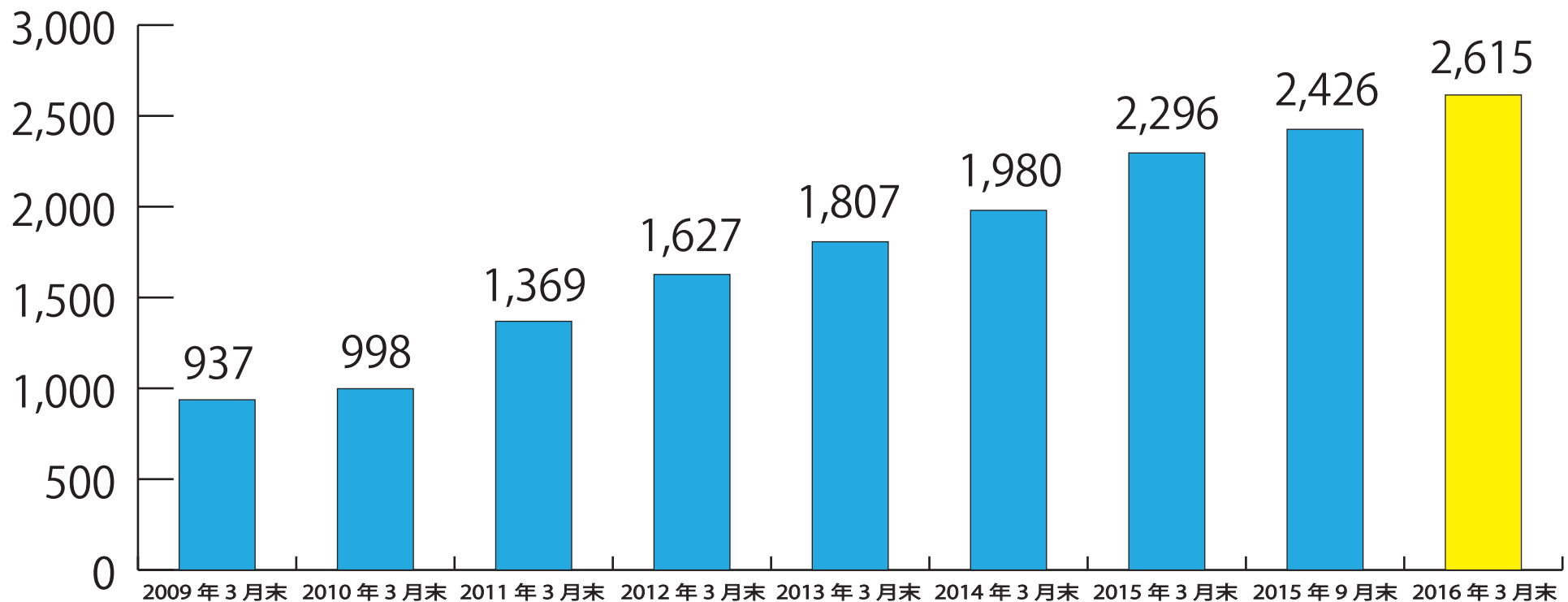
イー・ギャランティ株式会社

16/3 月期 業績概要

1. 保証残高 拡大

□16/3 月期上期については、足元の倒産件数を背景に、低リスクを中心として積極的なリスク受託を展開し、保証残高は前期末に比べて 130 億円増加。

□16/3 月期下期については、大企業を中心として顧客ニーズに合った商品提案を積極的に展開した結果、前期末に比べて 319 億円増加（前年同期比 16% 増加）。



※(保証残高は売掛債権保証サービス及び買取債権保証サービスに係る保証債務を合計したもの)

2. 連結損益計算書

□保証サービスへの引き合いが堅調に推移する中、新規顧客を獲得し、順調に契約数を積み上げた結果、売上高は前年同期比 8.8%増加。

□金融緩和局面において低コストで組成したファンドの活用を進めたことにより、原価率が好転し、また販管費比率も低下した結果、営業利益・経常利益は前年同期比 18.9%増加。

単位＝百万円
比率＝％

	15/3 月期	構成比	16/3 月期	構成比	増減	増減率
売上高	4,064	100.0	4,422	100.0	358	8.8
売上総利益	3,108	76.5	3,398	76.8	290	9.3
営業利益	1,538	37.8	1,829	41.4	291	18.9
経常利益	1,562	38.4	1,857	42.0	295	18.9
当期純利益	904	22.3	1,111	25.1	207	22.9

3. 対期初予想比

- 低リスクゾーンの引受けにより保証残高を積み上げた結果、売上高達成率は 94.1%となった。
- 一方、倒産件数の減少に伴い流動化原価が低下したことにより、利益率が上昇し、営業利益・経常利益・当期利益はいずれも期初予想を若干上回る結果となった。

単位＝百万円
比率＝%

	16/3 月期 (期初予想)	構成比	16/3 月期 (実績)	構成比	増減	達成率
売上高	4,700	100.0	4,422	100.0	△278	94.1
営業利益	1,820	37.8	1,829	41.4	9	100.5
経常利益	1,850	38.4	1,857	42.0	7	100.4
当期純利益	1,070	22.2	1,111	25.1	41	103.8

4. 連結貸借対照表

単位＝百万円
比率＝％

資産の部				
	15/3 期末	構成比	16/3 期末	構成比
流動資産	6,801	67.7	7,443	69.9
現預金	4,561	47.5	5,403	50.8
前払費用	1,556	16.2	1,264	11.9
繰延税金資産	193	2.0	159	1.5
その他	191	2.0	617	5.8
固定資産	2,801	32.3	3,202	30.1
資産合計	9,602	100.0	10,645	100.0

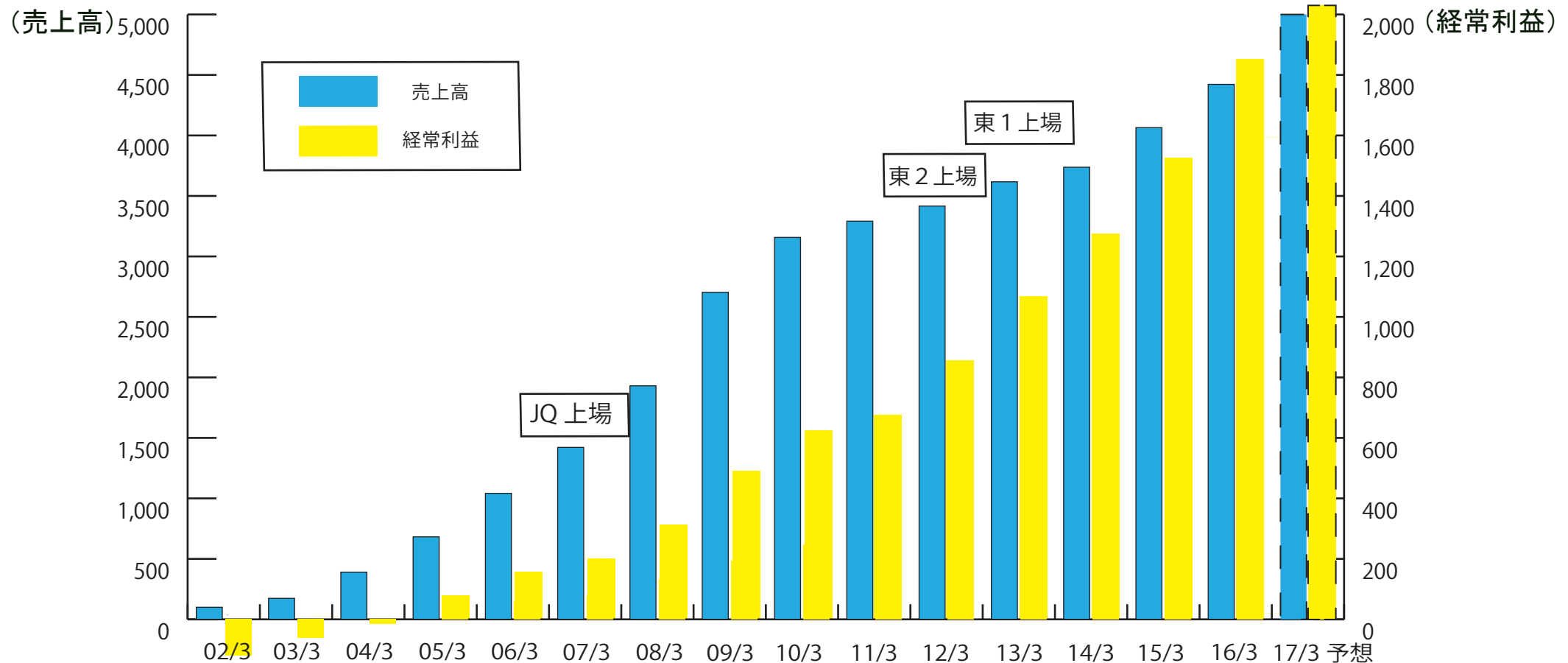
□ESOP による借入金返済により、長期借入金が 56 百万円減少。

□投資有価証券の購入等により、固定資産が 371 百万円増加。

負債の部				
	15/3 期末	構成比	16/3 期末	構成比
流動負債	3,218	33.5	3,389	31.8
保証履行引当金	313	3.3	297	2.8
前受金	2,100	21.9	2,233	21.0
その他	805	8.4	856	8.0
固定負債	210	2.2	146	1.4
長期借入金	87	0.9	31	0.3
その他	123	1.3	115	1.1
負債合計	3,429	35.7	3,536	33.2
純資産の部				
株主資本	5,162	53.8	6,031	56.7
資本金	1,462	15.2	1,481	13.9
資本剰余金	872	9.1	891	8.4
利益剰余金	3,081	32.1	3,905	36.7
自己株式	△253	△2.6	△246	△2.3
新株予約権	27	0.3	27	0.3
非支配株主持分	983	10.2	1,050	9.9
純資産合計	6,173	64.3	7,109	66.8
負債純資産合計	9,602	100.0	10,645	100.0

5. 業績推移

- 16 年 3 月期も増収増益を維持し、上場以来 9 年間連続最高益を更新。
- 足元の保証残高の堅調な積み上がりを受け、17 年 3 月期も最高益を更新する見込み。



6. 17/3 月期の連結業績見通し

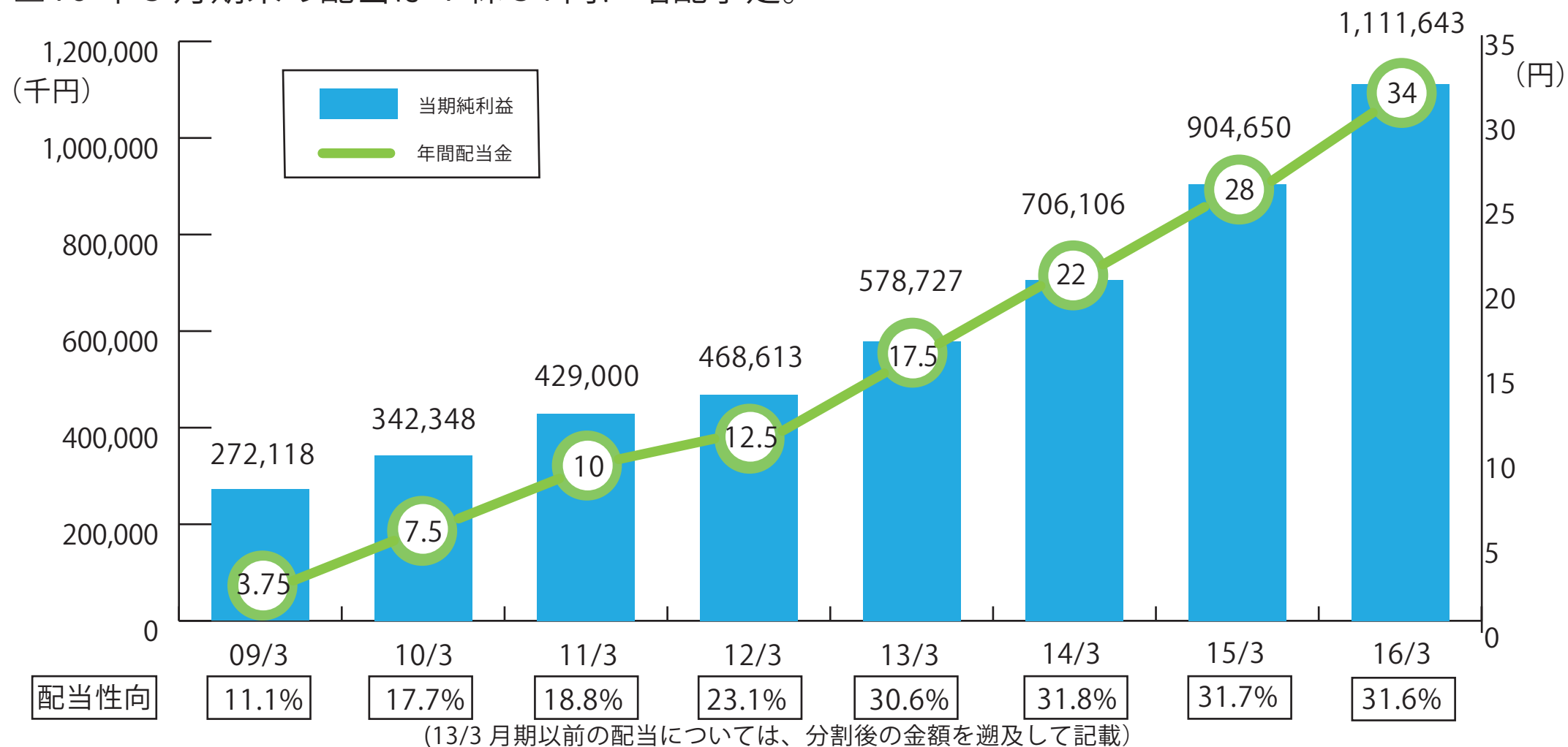
- 企業業績の悪化が懸念される不透明な経済環境を背景に、慎重な審査を踏まえたリスク受託を展開する。
- また、顧客の企業規模や業種に合った商品の開発やサービスの提案をすることで、保証の裾野拡大を目指す。

単位＝百万円
比率＝％

	16/3 月期（実績）	17/3 月期（予想）	増減比
売上高	4,422	5,000	13.1
営業利益	1,829	2,050	12.1
経常利益	1,857	2,150	15.8
当期純利益	1,111	1,280	15.1

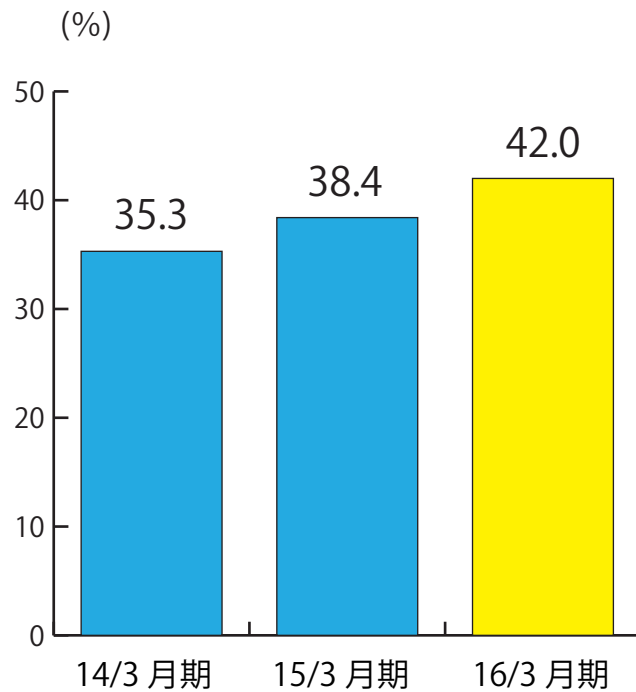
7. 配当政策

□ 16 年 3 月期末の配当は 1 株 34 円に増配予定。

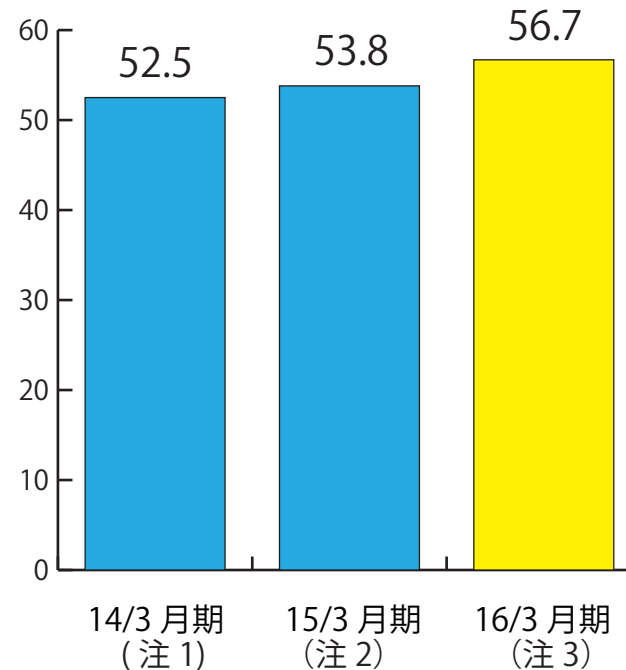


8. 主要な経営指標

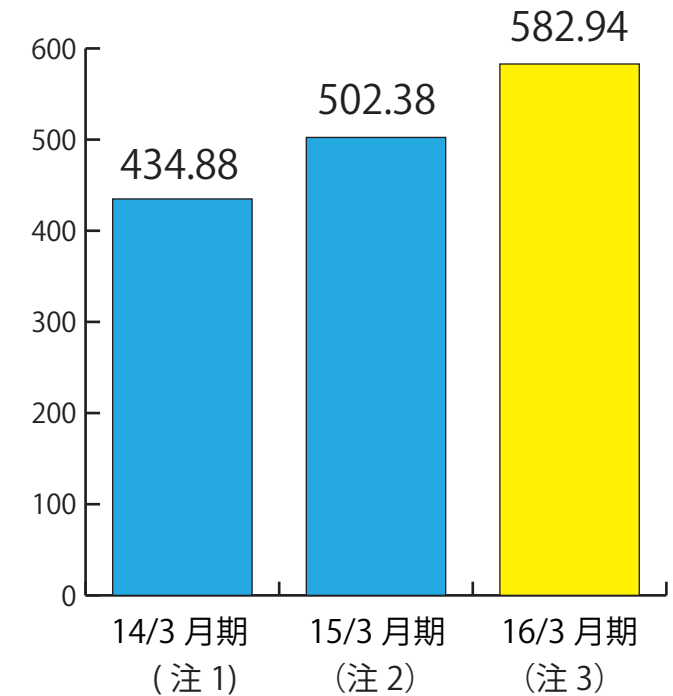
売上高経常利益率



自己資本比率



1 株当たり純資産



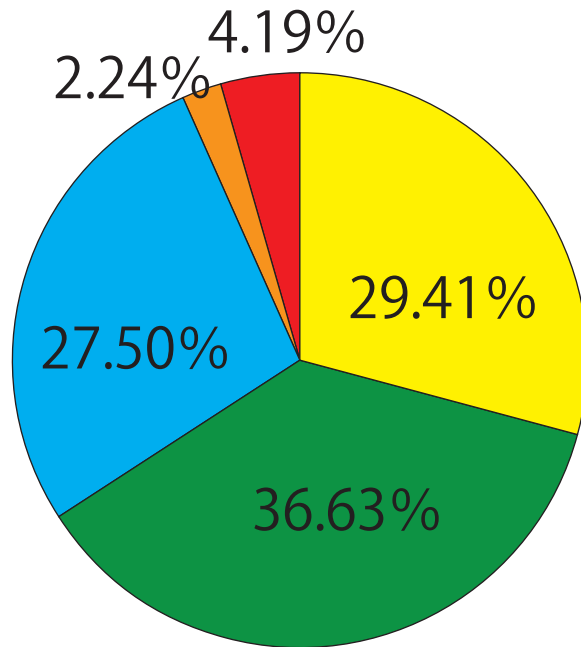
(注 1)「従業員持株会支援信託 E S O P」が保有する当社株式 264 百万円を自己株式として控除しております。

(注 2)「従業員持株会支援信託 E S O P」が保有する当社株式 253 百万円を自己株式として控除しております。

(注 3)「従業員持株会支援信託 E S O P」が保有する当社株式 245 百万円を自己株式として控除しております。

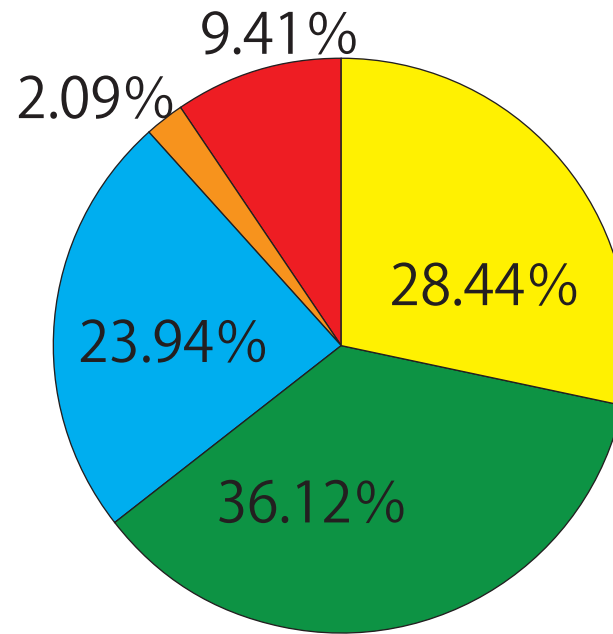
9. 株主別分布状況

14 年 3 月期



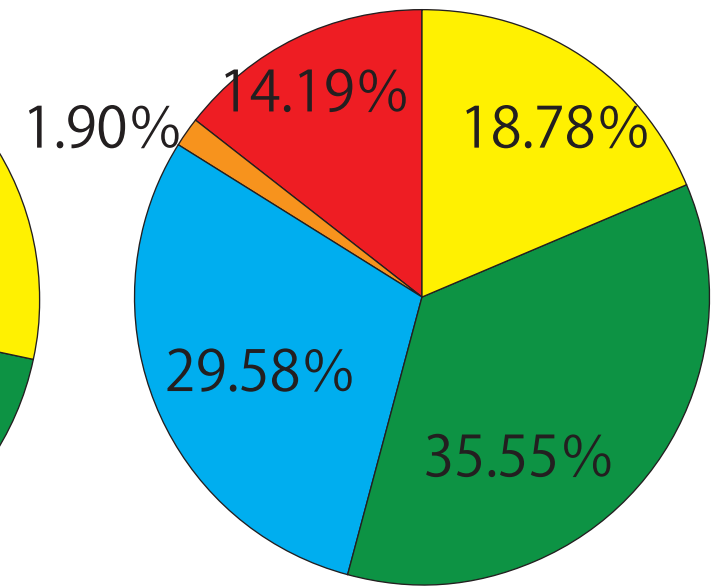
発行済株式数
10,236 千株

15 年 3 月期



発行済株式数
10,275 千株

16 年 3 月期

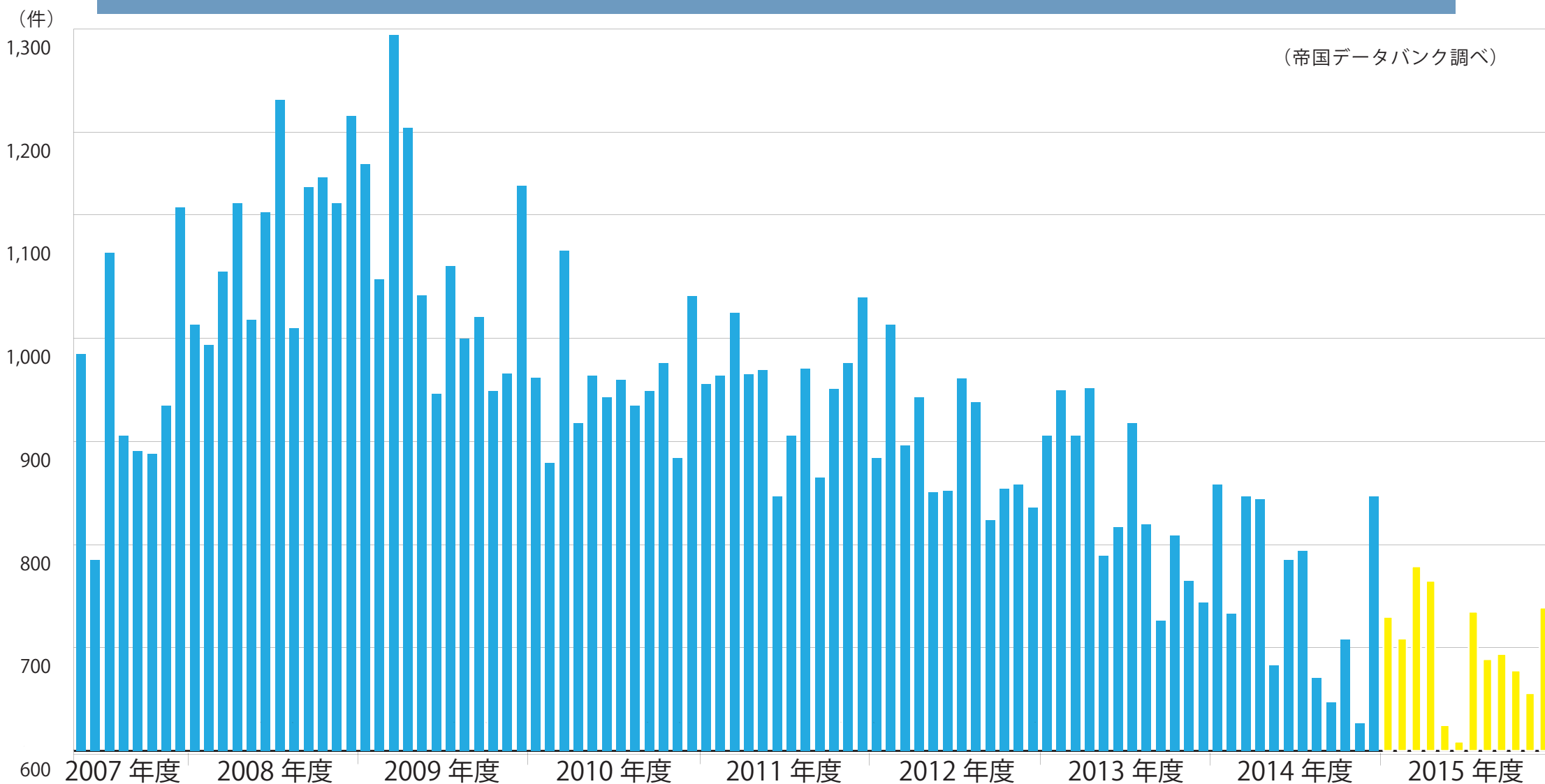


発行済株式数
10,346 千株

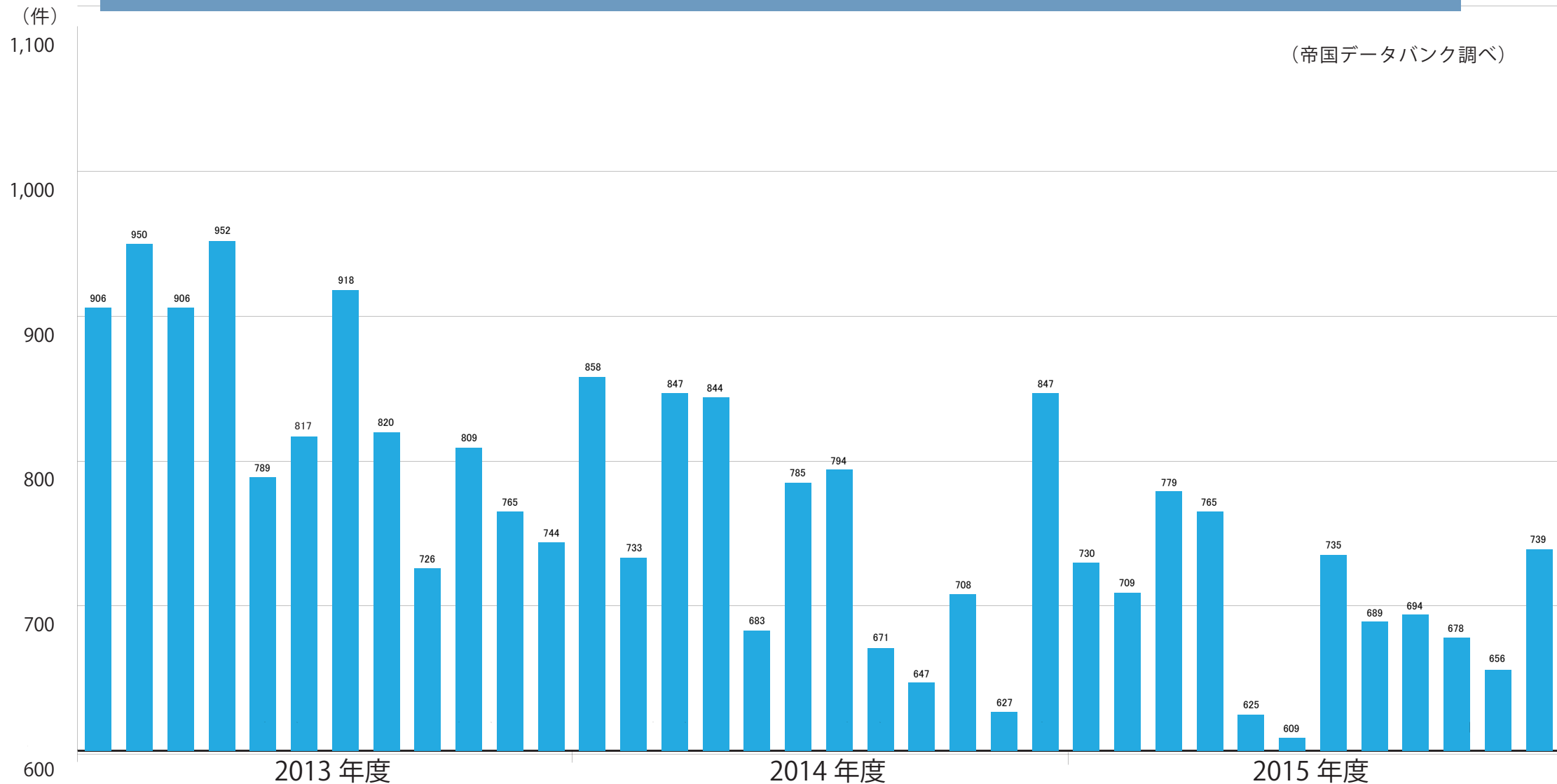
個人その他 金融機関 国内法人 証券会社 外国人

17/3 月期の重点施策

全国倒産件数の推移①（月次件数）



全国倒産件数の推移②（月次件数）



17/3 月期の取り組み

外部環境

政府による各種政策を背景に企業収益や雇用情勢などが改善し、景気は緩やかに回復していくことが想定される。ただし、中国をはじめとする新興国経済の減速に加え、年明け以降の円高進行による企業業績の悪化懸念が強まり、倒産増加への不安はいまだ存在する。

基本方針

倒産動向や経済環境の変化を注視しながら、積極的なリスク引受けを展開する。一方で、前期同様に中長期的な信用リスクに対しては慎重なリスク判断を継続したリスク受託を展開する。また、顧客ニーズに合った商品を開発・提案するとともに、輸出債権に対するリスク受託基盤の整備に取り組み、保証事業の裾野の拡大を図る。

17/3 月期 重点施策

1. 営業資源の増強
2. 商品ラインナップの拡充
3. リスク受託力の強化

17/3 月期 重点施策①

営業資源の増強

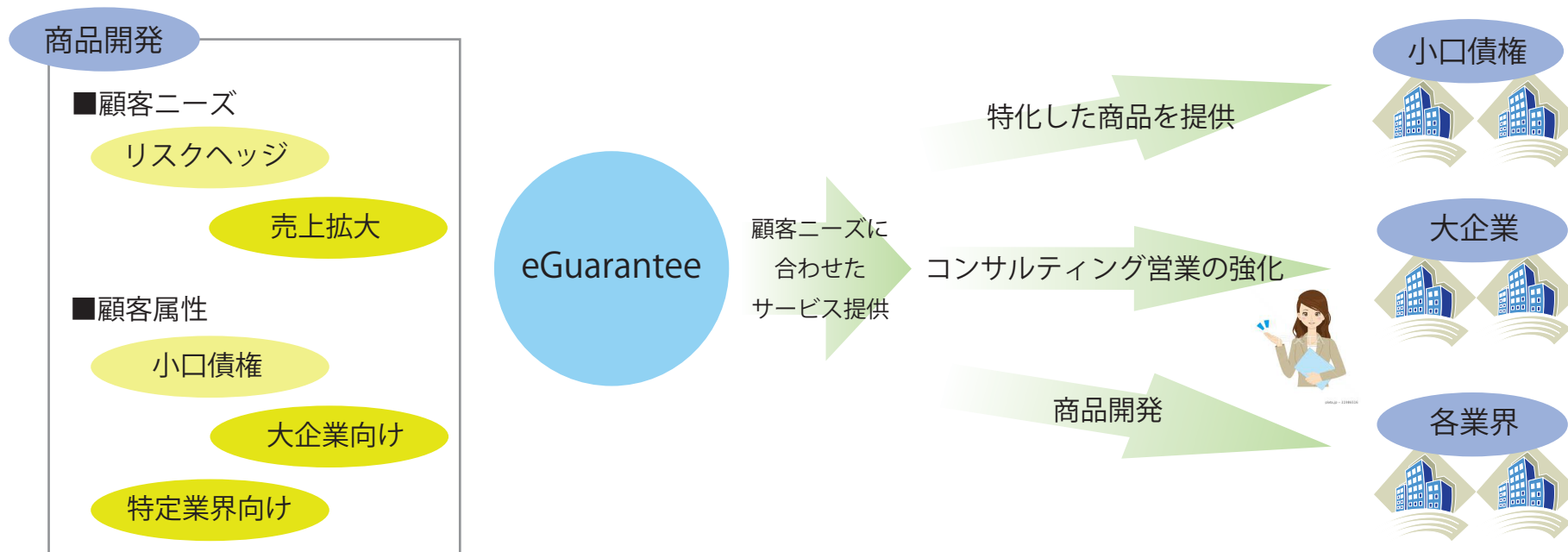
契約数の増加や顧客からの引き合い増加に対応すべく、教育研修を強化するとともに、ITの有効活用により営業事務を効率化し、営業資源の増強を図る。



17/3 月期 重点施策②

商品ラインナップ の拡充

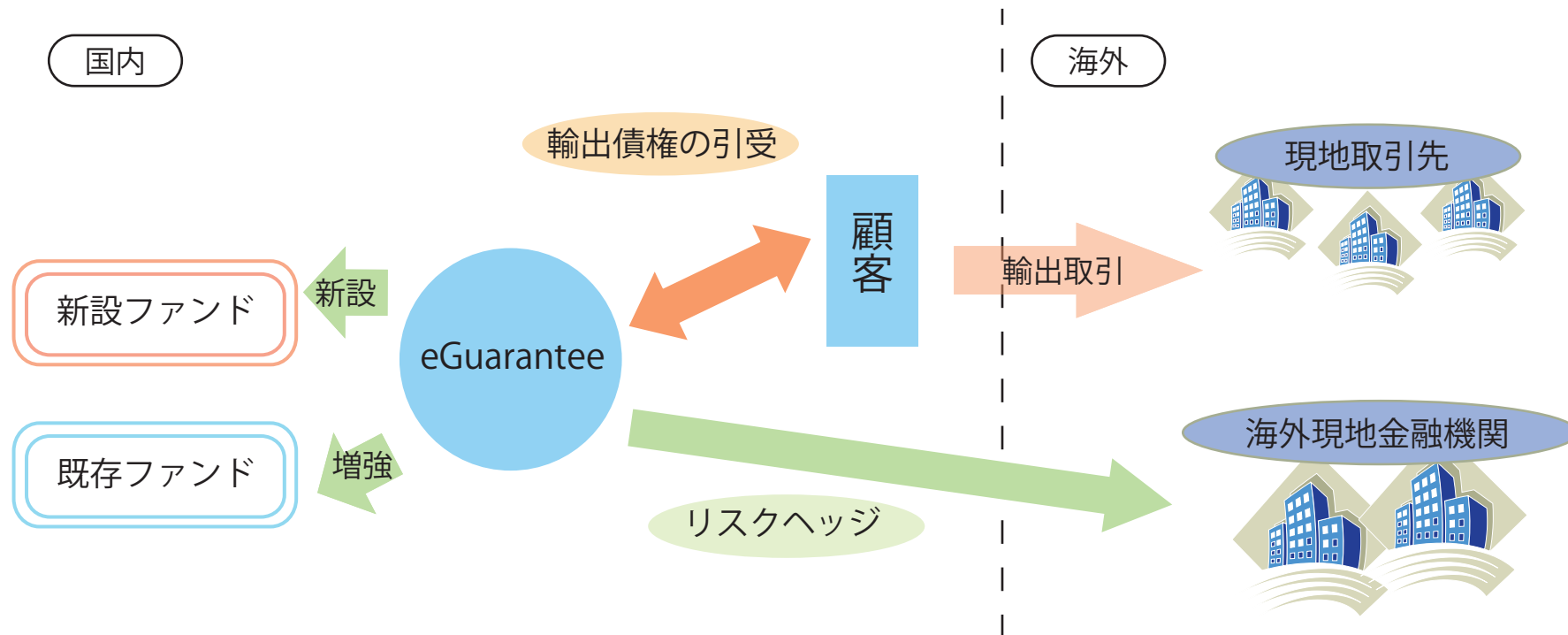
リスクヘッジとしての商品だけでなく、売上拡大につながるような商品を開発し、顧客ニーズに合ったサービスを提供する。また、顧客の企業規模や業界に応じた商品を提供すべく、小口債権保証や大企業向けのコンサルティング営業の強化、特定の業界向けの商品開発に取り組む。



17/3 月期 重点施策③

リスク受託力の強化

中国・韓国以外の東南アジア地域において提携先金融機関の拡大や関係強化に取り組み、輸出債権保証のリスク受託基盤を整備する。また、今後の保証残高拡大に備えるべく、ファンドの増強に取り組む。



本資料に関するお問い合わせ先
イー・ギャランティ株式会社 経営管理部
03-6327-3651